

# 認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

## ORMZ ニュース第 132号 (R4.8.2)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



**はじめに** 8月となりました。夏の暑さとゲリラ豪雨、どうぞお気を付けてください。コロナ感染者数も急増していますが、基本の感染対策を適切に実施していきましょうね。

さて、今回の ORMZ ニュースでは、現地ザンビアでの巡回診療の実施状況、そして現地での活動を視察された、長崎大学病院「国境を越えた地域医療支援機構」所属、杉本尊史先生からの報告などをお伝えします。

皆様には引き続きご支援のほどよろしくお願ひします。

### 会の経過報告等

・7月29日、宮崎市民活動センターからの依頼を受け、ボランティア市民活動団体としての登録更新手続きをしました。

### 現地活動報告【巡回診療】(山本ひとみ)

**6月15日 リテタ** 診療数 150名 内マラリア陽性数 41名

- ・主な訴え、疾患等：疥癬、せき、赤痢
- ・35歳男性、アルコール性肝炎、膵炎、胆管炎、腎盂腎炎でチョングエに搬送
- ・チペンビクリニックのスタッフが同行し、COVID ワクチンとこどもの予防接種が行われた
- ・5歳未満の児童12人が予防接種を受けた

**6月22日 ニャンカンガ** 診療数 92名 内マラリア陽性数 21名

- ・主な訴え、疾患等：せき、寄生虫感染、虫歯、下痢
- ・4歳の男児、1年にわたり右鼠径ヘルニアの症状があり、チョングエ郡病院へ紹介
- ・ムワプラクリニックのスタッフにより、COVID ワクチン、予防接種が行われた
- ・5歳未満の児童39人が予防接種を受けた

**7月7日 ルアノ** 診療数 82名、内マラリア陽性数 11名

- ・主な訴え、疾患等：せき、下痢、腰痛、風邪
- ・重症者 なし
- ・チペンビクリニックのスタッフにより、COVID ワクチン、予防接種が行われた
- ・予防接種は5歳未満の児童17人が受けた。
- ・疥癬患者は1名

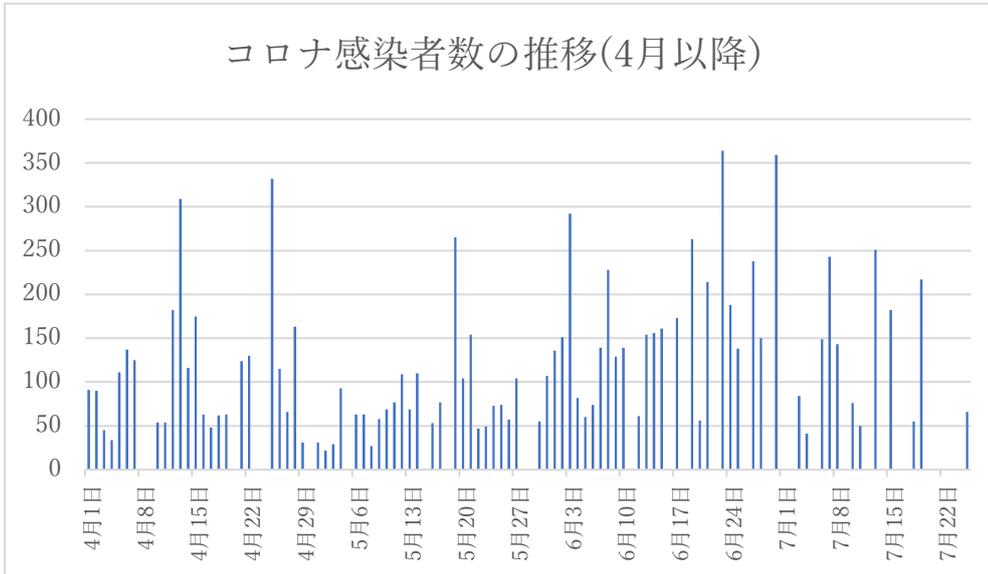
**7月14日 サンダラ** 診療数 68名 マラリア陽性数 6名

- ・主な訴え、疾患等：せき、疥癬、下痢、ビルハルジア
- ・10か月の男児と1歳8か月の女児、疥癬に合併した細菌感染症。ムルングシ・クリニックに紹介
- ・チペンビクリニックのスタッフにより、COVID ワクチン、こどもの予防接種が行われた

- ・40人がCOVIDワクチンを受けた。
- ・5歳未満の児童28人が予防接種を受けた。
- ・道中、患者が待っていた。うち1人がマラリア陽性であった

## ザンビアの新型コロナウイルス感染症等の状況

・ここ数ヶ月は、一日当たり50人から350人くらいの感染者数となっています。1月頃に比べると少なくなっていますが、報告されない日があるため、今後とも動向に注意が必要と考えています。



### \*7月の報告数

3日 84人、  
8日 143人、  
11日 50人、  
15日 182人、  
19日 217人、  
25日 66人

## ザンビア視察報告（杉本先生からの報告）

今回、1ヶ月ほどかけてORMZの活動を見学させていただきました。そのお礼の意も込めて、見学のご報告をしたいと思います。

ザンビアに渡航するのは私にとって5年ぶりでした。この間、首都ルサカでは新たなショッピングモールが建ち並んだり、高架のバイパスが通っていたり、またスマホが日常化したりしている変化を目の当たりにして、この国の加速的な発展の勢いを感じました。

その勢い以上に急速に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響は、マスクを着用する人々、各所で振りまかれる手指衛生剤、足元のsocial distancingの文字から、既に人々の生活の中に織り込まれている様子が伺えました。とりわけ、それまでのザンビア特有のがっちりとした握手が、軽いfist bumpに置き換わってしまっていたのは寂しく思えました。

巡回診療は、4地域全てに同行しました。サバンナの草原の中に土壁と茅葺屋根の小屋が点在する風景は、首都ルサカとは別の国かと思えるほど対照的でした。そこに色とりどりの布を身に纏った大勢の女性と子どもたちが集まってきて、持参した野菜やお菓子や古着などを並べて市ができ、男どもはやや遠巻きに構えて、あちこちで賑やかな会話が繰り広げられている様子は、ある種お祭りのような雰囲気でした。巡回診療が毎月恒例の健康イベントとしてすっかり地域に定着している様子が伺えました。

当初「診療」という言葉からは、病人を診に行く活動というイメージを持っていましたが、それは巡回診療の目的の一部に過ぎないことがわかりました。診療以外にも、5歳未満児健診、小児とコロナの予防接種、妊婦健診、家族計画といった予防医療サービスが、ORMZのスタッフのみならず、近隣の公立ヘルスセンターの医療従事者、地元の保健ボランティアによって提供されていました。NGOと公的機関と地域住民がそれぞれの強みを持ち寄って、この予防と治療が一体となった保健医療サービスを辺地で作り上げている姿にとっても感銘を受けました。

もう一つ、巡回診療には重要な目的があります。地域保健ボランティアと顔を合わせ、彼らから地域の状況を教えてもらい、また彼らの普段の業務に必要な物品や薬剤を提供して、日々の活動をサポートすることです。彼らは、巡回診療がない日の「ドクター」です。この時期は年間でも最もマラリアが多い時期ですが、彼らからの報告によれば今年は昨年以上に患者数が増えていて、毎日のようにマラリアを診断し、投薬しているとのこと。この早期診断、早期治療のおかげで重症化が未然に防がれていて、マラリア診療におけるボランティアたちの貢献度は絶大と言えます。

巡回診療のある朝は、まだ日の出前の暗いルサカの事務所を出発して、終わって帰宅するのは真夜中でした。業務とはいえ、これだけの長時間にわたって休みなく働くORMZスタッフの準医師や運転手を尊敬します。彼らには、片づけ、報告書作成とまた次の巡回診療の準備があります。

想像するに、村に巡回診療が来る日は、女性たちは家事から一時解放され、おしゃれをして大手を振って外出するのを楽しみにしていることでしょう。保健ボランティアたちは自分たちのパフォーマンスを存分に披露して、近所の人々からさらなる信頼を得ることでしょう。長年に渡る地道なORMZの巡回診療は、取り残されている村の人々に多くのものをもたらしていることが垣間見えました。私も微力ながら引き続き活動を支援していきたいと思えます。

#### \*御礼の言葉（山元先生）

杉本先生 おつかれさまでした。いろいろとご指導いただき、ありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

### **賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について**

- ・2022 事業年（1月から12月）も8月となりました。
- ・皆様には、賛助会費（個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上）及びご寄附（金額は問いません）のご協力をよろしくお願いいたします。
- ・当法人は認定NPO法人であり、ご寄附（賛助会費含む）をいただいた際には翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けします。
- ・ご不明の点は日高（[info@ormz.or.jp](mailto:info@ormz.or.jp) または [hidaka1956@gmail.com](mailto:hidaka1956@gmail.com)）までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351

加入者名 NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九 口座記号：01720-9 口座番号：0126351

加入者名： NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称（全角）：トクヒ）ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

**令和4年（2022年）も多くの皆様のご支援を心からお願い申し上げます。**